

映画 エクレール
éclair
お菓子放浪記

吉井一肇
(新人)

林 隆三

高橋 恵子

遠藤 憲一

早 織

いしだあゆみ

山田 吾一

尾藤 イサオ

竹内 都子

松村 良太

三上 寛

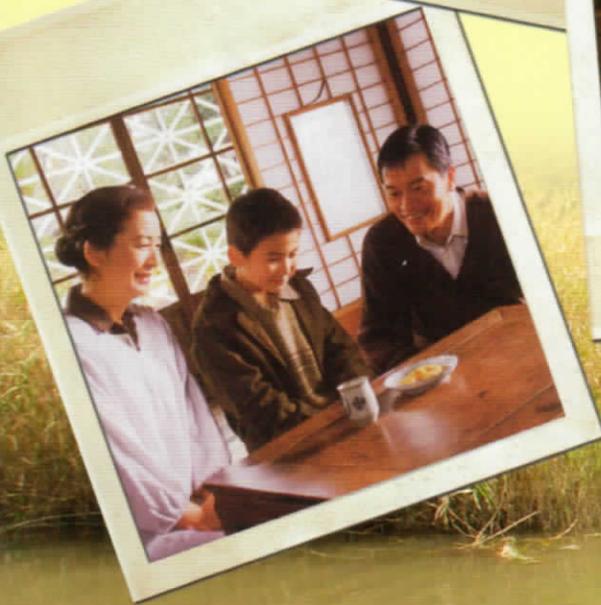
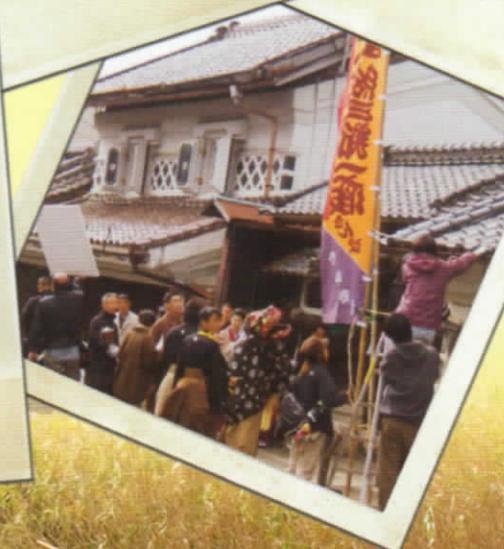
太賀

春風亭昇太

鹿児島県上映のご案内

東日本復興支援

原作：西村 滋 監督：近藤 明男「ふみ子の海」



映画「エクレール・お菓子放浪記」製作委員会

シネマとうほく オフィス近藤 プリズム 河北近鉄社 仙台放送 シネマ・ディスト
IBC岩手放送 テレビユー山形 三金興業 社隆高部印刷 福山芳夫建設設計監理事務所
群馬共同映画社 秋田県映画センター 九州共同映画社 役員士千葉直人

助成：文化芸術振興費補助金 選定：文部科学省 後援：法務省保護局 認定：社団法人企業セvens協議会

<支えあう人の心のやさしさ>を

映画「エクレール・お菓子放浪記」の鹿児島県上映の成功に
あなたのお力をお貸してください。

3月11日、東北地方を中心に東日本一帯を襲った大惨禍は、一瞬にして数々の夢と希望を打ち崩しました。押し寄せた津波は、町の姿を一変させ、人々の暮らしを粉々に破壊しつくしました。未来が奪われ、絶望が町を覆いました。

こんな津波に破壊された宮城県石巻市をメインロケ地に、一本の映画が企画され、完成を迎えていたのです。

映画「エクレール・お菓子放浪記」がその作品です。この作品は、日本がああ悲惨な戦争に向かおうとしていた時代に、たくさんの人のやさしさに支えられながら、自らの未来に向けて精いっぱい生き抜いた一人の孤児の少年の物語です。

時代の閉塞感が語られるようになってしまった現代社会に、<支えあう人の心のやさしさ>を頼りに、その心を全国に発信すべく、宮城県民がその旗をかかげたのは、今から数えるなら三年前のことでした。それ以来、夢の実現を願う宮城県民の願いは、県内に広がる大きな輪となって、この作品は本年2月、無事完成をむかえたのです。

そして明けた3月10日、東京のニッショーホールで開催された完成披露試写会は、会場をいっぱい埋めた700名の感動の声に包まれていました。今のこの時代に<支えあう人の心のやさしさ>を語ろうとした宮城県民の願いは、見事な全国発信のスタートを切ったかに見えたのです。

ところが、翌日、東日本を襲った大惨禍は、こんな夢を一瞬にして打ち砕いてしまいました。映画に描かれた素晴らしい情景に被害はもたらされました。三年にわたる夢を語りながら、作品を生み出した宮城県では、とうてい公開できる状態ではなくなってしまったのです。

しかしながら、私たちはこの作品に触れ、宮城県民が、わけてもメインロケ地となった石巻市民が心を込めて語ろうとしたこの作品の心が、実は今こそ日本国中に求められる心であることに気づかされたのです。この作品の心<支えあう人の心のやさしさ>は、今こそ一人でも多くの国民の胸に語らなければならない“心”であることを確信したのです。

私たちは心を込めて訴えます。

今こそ、この作品を鹿児島県下多くの市でも町でも村でもその上映を実現し、この作品の心を広く県民に語りながら、その心を東北の被災地への支援の心につなげてゆきたいと願っています。どうぞ、こんな私たちの願いにあなたの手をつないでください。被災地に心をつなごうとする私たちの願いが、いつかは県下全域に広がる大きな“心つなぎの輪”となって育ってゆくことを信じて…。



映画「^{エクレール}お菓子放浪記」鹿児島県上映推進委員会

名誉会長

伊藤祐一郎

鹿児島県知事

代表委員

溝口 宏二

鹿児島県社会福祉協議会会長

米山 昭規

鹿児島県民生委員児童委員協議会会長

黒江 明男

鹿児島県保護司会連合会会長

成尾 昌子

鹿児島県更生保護女性連盟会長

岩田 泰一

鹿児島県菓子工業組合理事長

外城戸昭一

鹿児島県PTA連合会会長

桐野 貴行

鹿児島県青年団協議会会長

森 義久

鹿児島県商工会連合会会長

諏訪 秀治

鹿児島県商工会議所連合会会長

小正 芳史

鹿児島県中小企業団体中央会会長

中村 耕治

株式会社南日本放送代表取締役社長

(敬称略・順不同)



参加団体

鹿児島県母子募婦福祉連合会・鹿児島県食生活改善推進員連絡協議会・鹿児島県生活研究グループ連絡協議会・鹿児島県生活学校運動連絡会・鹿児島県交通安全母の会連絡協議会・鹿児島県地域赤十字奉仕団・鹿児島県中小企業家同友会
鹿児島県地域女性団体連絡協議会 (順不同)

後援(予定)

鹿児島県・鹿児島県教育委員会・鹿児島県市長会・鹿児島県町村会・鹿児島県商工会議所連合会・南日本新聞社



今こそ鹿児島中に…

【名誉会長】

鹿児島県知事 伊藤 祐一郎



平成23年3月に発生した東日本大震災は、死者・行方不明者が2万人を超える未曾有の大災害となり、今なお多くの方が避難生活を強いられています。

このような中、震災前の宮城県をメインロケ地として制作された映画「エクレール・お菓子放浪記」は、戦中・戦後の混乱期にたくましく生き抜いていく少年の姿を描く中、「支え合う人の心のやさしさ」を訴えています。

まさに、困難を乗り越えながら復興に向けて歩んでいる数多くの被災者に、大きな励ましと将来への希望を与えらるとともに、人と人のつながり、絆の大切さを改めて感じさせてくれる作品です。

ぜひ、この作品を多くの県民の皆様にご覧いただき、被災地復興に向けた支援の輪がさらに広がっていくことを願っています。

あらすじ ~story

昭和18年、孤児院を脱走したアキオは、あられを盗み逮捕される。空腹のアキオに、担当刑事の遠山が菓子パンをくれた。初めて口にする甘味はアキオを夢心地に。

やがて千吉、春彦と共に感化院に入れられたアキオは、指導員・伊集院から暴力的な軍事教育を受ける。希望のない日々を救ってくれたのは、教員・陽子が歌う「お菓子と娘」だった。

昭和18年、フサノの養子になったアキオは家族ができた大喜び。だが、フサノにとってアキオは労働力でしかない。ショックを受けたアキオは家出し、旅一座とともに巡業に出ることに。

ようやく居場所を見つけたアキオだったが、戦争という現実が旅一座をも打ち壊してしまう。

さらに、陽子や遠山までもが空襲で亡くなったと知った時、アキオは戦争の残酷さを痛感し、世の中に絶望するのだった。そして、終戦…。

大切にしていた沢山の人の死と巡り会ったアキオは心を閉ざして社会の片隅で生きていました。そんなアキオを救ったのは、彼を支えた、やはり「やさしい人の心」と「お菓子の持っている不思議な力」だったのでした。



キャスト・スタッフ ~cast/staff



吉井一肇 (よしはじめ)

1999年生まれ。東京都在住。
2008年「THE BOY FROM OZ」リトルピーター役、2009年「レミゼラブル」カプロージュ役、2009年「Nine」リトルグイド役、
2010年「ザ・ミュージックマン」ウィンスロップ役
東京を中心に舞台上で活躍中。



林 隆三 (はやしりゅうぞう)

1966年に俳優座養成所を卒業。翌年デビュー。
その後、テレビ「NHK」「たけしくん、ハイ」などに出演。映画では、「妹」「草の乱」などに出演。1977年近代映画協会「竹山ひとり旅」で日本アカデミー賞主演男優賞。朗読、CD文庫、ドキュメンタリー番組のナレーション、童話の朗読公演なども行っている。みやぎ夢大使として宮城県の応援を続けている。



高橋恵子

1955年生まれ。北海道出身。
1970年「高校生ブルース」でデビュー。
映画、TV、舞台と多方面で活躍中。
映画「TATTOO (刺青) あり」、「図鑑に載っていない虫」などに出演。
2007年「ふみ子の海」では盲目の按摩役を熱演し、毎日映画コンクール女優助演賞を獲得。他出演多数。



遠藤憲一

1961年生まれ。東京都出身。
1983年NHKドラマ「壬生の恋歌」でデビュー。
映画、TV、舞台と多方面で活躍中。
映画「ハゲタカ」、「20世紀少年」、「日本沈没」、テレビ「不毛地帯」、「濡けむりスナイパー」、「白い春」など多数出演。日本映画になくならない個性派俳優としての地位を確立。



早織 (さおり)

1988年生まれ。京都府出身。
映画では2006年「天使」、2007年「ケータイ刑事 THE MOVIE2 石川五右衛門一族の陰謀〜決闘!コロボゴダイの森」、「Water」舞妓Haaaaan!!!」2009年「南極料理人」、2010年「おにいちゃんのハナビ」2011年「津軽百年食堂」(春公開予定) テレビ、映画で活躍中。



いしだあゆみ

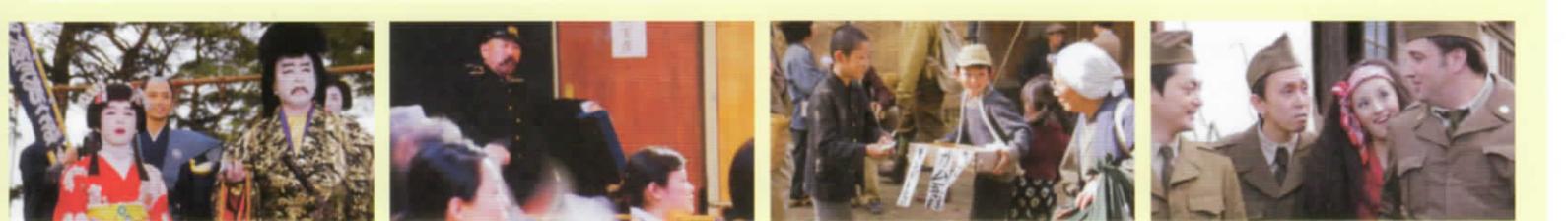
1948年生まれ。大阪府出身。いづみたくに師事。
昭和44年「ブルーライトヨコハマ」が大ヒット。その後女優として映画、テレビなどに出演多数。出演作品に「青春の門(自立編)」、「駅ステーション」、「火宅の人」他多数。
日本アカデミー主演女優賞など受賞多数。

原作：西村 滋

1925年名古屋生まれ。幼くして両親と死別し、孤児となる。戦争孤児施設の指導員ほか、さまざまな仕事に従事。その後、孤児体験も含め戦争孤児の物語を書く。著書に「雨にも負けて、風にも負けて」(第2回日本ノンフィクション賞)「しゃくなげの海」(第7回読者の石賞)など多数。

監督：近藤明男

1947年東京生まれ。1970年早稲田大学卒業後、大映入社。増村保造に師事。大映倒産後、数々の名匠のもとで助監督を務める。1985年、日仏合作「想い出を売る店」で監督デビュー。2007年、「ふみ子の海」は封切後3年を超える異例のロングランとなって上映中。



映画「^{エクレール}お菓子放浪記」鹿児島県上映会のしくみ

開催方法

各市町村ごとに「上映実行委員会」をおつくりいただき、地域ごとに上映運動を展開していただきます。

対象

県内全市町村

上映期間

2013年1月～3月(予定)

鑑賞料金

前売券／一般 1,000円
当日券／一般 1,500円 小中高生 800円

上映経費

上映会に必要な経費は、鹿児島県上映推進委員会事務局が責任をもちます。

上映協力金

各市町村上映会で売り上げた前売券・当日券総額の5%を各市町村上映主催者にお支払いします。

申込み方法

2012年11月末までに鹿児島県上映推進委員会事務局へお申し込みください。

● 入場券の一部を震災支援のために ●

鹿児島県内上映会全ての入場券一枚から30円が、東日本大震災復興支援の義捐金として被災地に届けられます。



被災前の岡田劇場



被災後の岡田劇場

映画ではアキオ少年が小舟に乗るシーンが撮影された北上川河口の葦原は、ヨシの群落が一面に広がり、そこを渡る風の音が「残したい日本の音風景100選」にも選ばれた名所でしたが、津波で壊滅してしまいました。

また、アキオ少年が感化院を出た後に働く映画館として撮影に使用された150年続く石巻市の岡田劇場は先行ロードショーの場所となるはずでしたが、おし寄せた津波に飲み込まれ、跡形もなく流されてしまいました。

本作の後援団体である全日本菓子協会は、「映画『エクレール・お菓子放浪記』製作と上映を支える宮城県民の会」を通して、被災地の子どもたちにお菓子をおくる支援活動をいち早く開始。会員企業各社より寄付されたお菓子とメッセージを、児童養護施設や保育園、甚大な被害を受けた小学校に贈りました。

映画「エクレール・お菓子放浪記」鹿児島県上映推進委員会

事務局

MBC南日本放送事業局 〒890-8570 鹿児島市高麗町5-25

TEL099-254-7112 FAX099-254-7009

熊本映画センター 〒862-0951 熊本市中央区上水前寺1-10-29

TEL096-381-1214 FAX096-381-1293